

索引

イ(井)の部	醫師會規則	五三
醫師ノ責任	口の部	二
異同ノ決定	ろんぶろぞー氏	一九
衣服ノ崩壊	魯鈍者	二〇
陰毛發生ノ差異	ハの部	二
一人ノ骨ナルヤ否ヤ	ばるべりお氏檢法	五
異常所見ナキ場合	瘡痕檢査	九
陰部損傷	背部ニ於ケル損傷	一四
縊死	發育程度	一四
縊死ノ外表所見	八ヶ月胎兒	一四
縊死ノ自他爲	肺浮揚檢査	一四
胃腸浮揚檢査	肺浮揚檢査ニ對スル注意	一七
異常妊娠	肺鐵檢査	一八
陰部曝露症	犯法的墮胎	二五
陰部玩弄症	半陰陽	二五
醫術過誤	破瓜	二五
遺言能力	犯法的交接	二五
意志薄弱者	ばりつと中毒	四三
醫師法	麥角中毒	四三
醫師法施行規則	抱水くろらる中毒	五三
報告責任	白痴	五三
悖德狂者	妄想性抑鬱狀態	四〇
ばらのいあ	妄想性抑鬱狀態	四〇
妄想城府	破瓜狂	四一
破瓜狂	破瓜狂鑑定實例	四一
破瓜狂鑑定實例	妄想性痴狂	四二
妄想性痴狂	妄想性痴狂鑑定實例	四二
妄想性痴狂鑑定實例	肺結核豫防ニ關スル件	四八
肉類羊水等ノ鑑別	ニの部	四八
乳汁斑	肉類羊水等ノ鑑別	四八
尿斑檢査	乳汁斑	四八
日射病死	尿斑檢査	四八
妊娠檢査	日射病死	四八
妊娠ノ疑	妊娠檢査	四八
妊娠ノ確徴	妊娠ノ疑	四八
妊娠期間	妊娠ノ確徴	四八

妊娠不能	三〇二
日本ニ於ケル中毒統計	三〇〇
にちん中毒	三〇五
ホ の部	
法醫學ノ定義	一
ほふまん	一
法醫學ノ位置	二
法律上ノ恩典	三
法律上ノ制規	三
法規	三
法醫學的解剖	一〇
補體結合反應	一七
墨汁検査	四三
剖検	六三
母體検査	九
ほつべざいれる氏検査	一四
抱水くろらるる中毒	三〇
報告責任	三三
法醫學的精神病學ノ定義	三九
法醫學的精神病各論	四二
妄想性抑鬱状態	四三
妄想城府	四六
墓地及埋火葬取締規則	二〇二
ハ の部	
べらちん氏人身測定法	二〇〇
Bertillonage	二〇五
べんちん検査	一
へもくろもげん	一
へみん結晶	二
へもくろもげん結晶検査	三
べつちい氏法	三
へもといでんノ結晶	一〇
瓣狀創	一七
米國ニ於ケル中毒統計	四三
紅天狗たけ中毒	六三
べらふす、つわんぐ	九
變質性精神病	一四
ト の部	
吐血	三〇
投水者ノしよつく死	三三
鈍器損傷	四二
頭部損傷	四三
頭骨々傷	四六
凍死	四六
瞳孔膜検査法	二〇二
頭骨測定法	二〇〇
毒物	二〇五
毒物ノ法律的意義	二〇二
毒物ノ運命	二〇三
毒物接觸セシ局部所見	二〇四
毒物ノ化學的検査	二〇五
毒物検査ノ施行	二〇六
毒物證明ガ陽性ナリシ場合	二〇七
毒物證明ガ陰性ナリシ場合	二〇八
毒物證明ノ補助法	二〇九
獨逸ニ於ケル中毒統計	二一〇
毒物ノ分類	二一一
銅化合物中毒	二一二
銅鏡	二一三
毒瓦斯	二一四
毒うつぎ中毒	二一五
毒べにたけ中毒	二一六
チ の部	
中性めどへもくろびん	二一七
注加液	二一八
衄血	二一九

注入材料	四〇
沈降法ニ對スル注意	四一
鳥毛ノ検査	四二
著明ナル死因	四三
直接死因	四四
聽力詐病	四五
窒息死	四六
窒息死體外表所見	四七
窒息死内景所見	四八
窒息死ト原因トノ關係	四九
治療的墮胎	五〇
中毒	五一
中毒ノ診斷	五二
中毒ノ臨床的症候	五三
中毒症狀ノ經過	五四
中毒屍ノ解剖所見	五五
中毒各論	五六
痴愚者	五七
中間者	五八
痴愚者鑑定實例	五九
中間者鑑定實例	六〇
リ の部	
中毒性精神病	四〇
旅費日常	四一
淋巴性體質	四二
流産	四三
硫酸中毒	四四
りぞーる中毒	四五
硫酸銅中毒	四六
硫化水素瓦斯中毒	四七
磷中毒	四八
磷中毒鑑定實例	四九
硫化水素水検査	五〇
ヲ(オ) の部	
岡本教授	五一
をぞん検査	五二
をくらーるみくろめーどる	五三
悪露斑	五四
悪露	五五
大場氏	五六
ワ の部	
わぎにすむす	五七
猥褻行為	五八
カ の部	
片山教授	五九
鑑定人及鑑定	六〇
鑑定料	六一
鑑定及檢案	六二
鑑定書形式	六三
鑑定書實例	六四
喀痰斑検査	六五
割創	六六
顔面ノ損傷	六七
開放係締	六八
餓死	六九
感動死	七〇
強姦	七一
交接ヲ行セシ微標	七二
交接ト花柳病	七三
交接忍容	七四
強姦鑑定實例	七五
かり及なごらん滲汁中毒	七六
かんだりちん中毒	七七
片山氏検査	七八
ヨ の部	

豫備検査ノ意義	三〇	頭骨測定法	三三
豫防注射後ノ死	三〇	墜落産	四九
タの部		通經劑ト墮胎	四三
高山氏試薬	三〇	子ノ部	
胎便検査	三〇	熱射病及日射病死	二四
胎便ノ生物學的検査	三〇	ナの部	
胎垢検査	三〇	内臓破裂	二四
高田氏	三〇	同	二〇
胎兒ノ發育ト骨片ノ大サ	三〇	なごらん滴汁中毒	二〇
胎兒ノ肺	三〇	鉛中毒	二六
第一呼吸後ノ肺	三〇	ラの部	
大腸膀胱検査	三〇	雷死電撃死	二六
胎内窒息	三〇	老幼者遺棄	二六
墮胎検査	三〇	老性痴狂	二六
胎兒ノ大サト妊娠月數	三〇	癲病豫防ニ關スル法律	二六
墮胎藥	三〇	癲病豫防ニ關スル件施行規則	二六
墮胎ニヨル損傷	三〇	ムの部	
墮胎ノ結果	三〇	むすかりん	二六
男子ノ交接不能	三〇	夢中遊行	二六
男性假性半陰陽	三〇	ウの部	
大腿交接	三〇	うみこふ氏反應	二六
たんにん法	三〇		

烏頭中毒	三三	火傷ガ生前或ハ死後ニ生ゼ	三三
ノの部		シヤ	
濃硫酸法	三三	九ヶ月胎兒	三三
膿汁斑及喀痰斑検査	三三	化骨核ノ検査法	三七
腦質斑検査	三三	化學的毒物一般検査法	三七
腦損傷	三三	くろゝはるむニテ振盪	三三
ケの部		化學的毒物検査ノ結果ニ對	三三
ぐれにすたあ	三三	スル注意	三三
渦狀指紋	三三	くろゝむ中毒	三三
過酸化水素検査	三三	くろゝる瓦斯中毒	三三
還元へもぐろびん	三三	くろゝる酸加里中毒	三三
過敏性検査	三三	くろゝはるむ中毒	三三
草刈氏	三三	患者ノ試験的使用	三三
化骨ト年齢	三三	外傷性ひすてり	三三
火葬遺骨	三三	苦悶性諸妄状態	三三
火葬ト犯跡	三三	ヤの部	
くろゝはるむ麻酔中ノ死	三三	羊水斑	三三
棺内分婉	三三	扼死	三三
廻轉創管	三三	藥品營業並藥品取扱規則	三三
外傷性へるにあ	三三	藥劑師	三三
外傷性精神病	三三	藥種商	三三
火傷死	三三	藥品取扱	三三

マの部		頭骨測定法	三三
まるくす氏	三三	墜落産	四九
麻酔時ノ交接	三三	通經劑ト墮胎	四三
まいわる氏融解物	三三	子ノ部	
まるしゆ氏法	三三	熱射病及日射病死	二四
まんだらげ中毒	三三	ナの部	
麻痺性痴狂	三三	内臓破裂	二四
麻痺性鑑定實例	三三	同	二〇
ケの部		なごらん滴汁中毒	二〇
現場検査	三三	鉛中毒	二六
検屍	三三	ラの部	
血痕検査	三三	雷死電撃死	二六
血痕ノ發見	三三	老幼者遺棄	二六
血痕ノ色	三三	老性痴狂	二六
血痕ノ形状	三三	癲病豫防ニ關スル法律	二六
血痕ノ形	三三	癲病豫防ニ關スル件施行規則	二六
検査ニ着手	三三	ムの部	
顯微光像鏡	三三	むすかりん	二六
結晶検査	三三	夢中遊行	二六
血球検査	三三	ウの部	
血球ノ大サ	三三	うみこふ氏反應	二六
經血	三三		

血清沈降素檢法	四〇	骨質検査	三〇
血清評價	四一	骨質ノ古サト沈降反應	三〇
血清ノ貯藏	四二	骨格ノ種別	三二
血量ノ鑑定	四三	骨格ニテ年齢ノ決定	三三
血色素沈降素檢法	四四	骨片測定法	三五
血痕及毛髮鑑定書實例	四五	骨格ニ於ケル損傷	三七
檢屍	四六	骨格検査ノ實例	三八
血液就下	四七	咬傷	三九
頸部損傷	四八	骨折脱臼	四〇
胸部及背部ニ於ケル損傷	四九	骨折癒治時間	四一
結節係締	五〇	絞死	四二
鶏姦	五一	絞死ノ自他爲	四三
検査材料採集	五二	絞殺鑑定例	四四
血液毒	五三	鼓室検査	四五
刑法學上ノ犯罪人分類	五四	交接機能	四六
刑法ト精神病者	五五	Kohler	四七
刑法ノ目的	五六	こゝろちん	四八
輕減責任能力	五七	坑氣	四九
輕躁病	五八	誤診	五〇
輕度抑鬱状態	五九	公文書偽造	五一
7の部	六〇	悟性讚妄	五二
ふろらん氏	六一	昏迷性抑鬱状態	五三

好訴病者
こかいん中毒
行旅病人及行旅死亡人取扱法
英國ニ於ケル中毒統計
鹽酸中毒
鉛中毒

テの部
天幕狀指紋
蹄狀指紋
で、ごみにもす氏檢法
でるびゆう氏法
溺死
溺死者外表所見
溺死者内部所見
溺死ノ自他爲
電撃死
でいざたりん等中毒
てんぐたけ中毒
癩痢
癩痢性昏迷
癩痢性精神薄弱

癩痢性飲酒不堪	四六一	あんちもん中毒	四〇二
癩痢性膿腺状態鑑定實例	四六二	あるこはる中毒	四〇三
癩痢性精神薄弱者ノ實例	四六三	阿片及もるひね中毒	四〇四
傳染病性精神病	四六四	あごろびね中毒	四〇五
傳染病豫防法	四六五	あこにつど中毒	四〇六
傳染病豫防法施行規則	四六六	安死術	四〇七
傳染病豫防ニ據ル清潔法消毒方法	四六七	サの部	四〇八
アの部	四六八	酸化へもごろびん	四〇九
あるかり性めへごもごろびん	四六九	酸性へまらん	四一〇
あるかり性へまらん	四七〇	酸性へまごぼるひりん	四一一
藍ノ結晶	四七一	殺人ノ罪	四一二
あぶでるはるでん氏妊娠診斷法	四七二	挫傷	四一三
あ氏反應ノ確否	四七三	擦過銃創	四一四
淺田氏尿稀釋法	四七四	創管	四一五
あるかり性原液ヲねーてるニテ振盪	四七五	創傷ノ法醫學的觀察	四一六
あんもにあ性原液ヲねーてるニテ振盪	四七六	創傷ガ間接死因トナレル鑑定實例	四一七
あんもにあ水中毒	四七七	創傷ト腫瘍	四一八
亞鉛中毒	四七八	索溝	四一九
		索溝下ノ所見	四二〇
		殺兒	四二一
		産前ノ死	四二二

産中ノ死	一七二	業務上ノ秘密	一五	偽好詐病者	四三
産中頭部壓迫死	一七三	弓狀指紋	三三	緊張狂	四六
産中出血死	一七四	行政的解剖	六	ユの部	四八
産後ノ死	一七五	吸收線検査	三	有毒磷ノ定量	二五
臍帶ヲ結紮セサル結果	一七六	急死々々體検査	八	メの部	二五
産後ノ生存時間	一七七	兇器ト刺入口トノ關係	一九	めごへもぐろびん	三
想像妊娠	一七八	吸入液ノ消失	一五	めこん小體	三
産後ノ經過日數ト子宮ノ大サ	一七九	木内氏反應	一七	眼ノ損傷	一四〇
産物ノ検査	一八〇	鬼胎	一八	めちるあるこほる中毒	三
産出不能	一八一	揮發性毒物	二二	綿馬のつぎす中毒	三七
擦淫	一八二	金屬性毒物	二六	ミの部	三七
さでー症	一八三	きざんとぶろていん反應	二六	木乃伊	一六
さでー症鑑定實例	一八四	蟻酸中毒	二七	耳ノ損傷	一四〇
酸性原液ヲ以テるニテ振盪	一八五	急性こかいん中毒	二七	民法ト精神病	一四〇
醋酸中毒	一八六	さちがひなすび	二八	民法上ノ心神喪失及耗弱	一四〇
酸化炭素中毒	一八七	菌蕈類ニ依ル中毒	二九	シの部	一四〇
酸化炭素へもぐろびん	一八八	魚介并ニ食物中毒	三〇	證人及證言	一四〇
さんごにん中毒	一八九	救急手當	三〇	身體的特徵	一四〇
躁鬱病	一九〇	業務上ノ秘密	三〇	死體ノ年齢	一四〇
躁暴病	一九一	禁治産及準禁治産	三一	死體ノ性	一四〇
早發痴狂	一九二	強迫觀念者	三一	人身測定法	一四〇
キの部	一九三	狂醉感溺者	三一	指紋法	一四〇

指紋ノ價	一四	身體厥冷	一〇四	燒死	一〇四
指紋番號	一五	死斑	一〇四	初生兒ノ徵候	一〇四
指紋ノ再現	一五	死體強直	一〇四	初生兒死因	一〇四
死體検査及解剖検査	一五	屍蠟	一〇四	浸軟胎兒	一〇六
實性反應	一五	浸軟	一〇六	七ヶ月胎兒鑑定書實例	一〇六
色素ノ吸收線	一五	死後ノ咬傷	一〇七	子宮ノ大サ	一〇七
試取(血清沈降素)	一五	傷害	一〇九	重複妊娠	一〇九
實際ノ検査	一五	しよつく	一一	子宮外妊娠	一一
しゆるつ氏	一五	刺創	一一	女子ノ交接不能	一一
人毛ト獸毛	一五	刺創鑑定書實例	一一	授胎不能	一一
獸毛	一五	銃創	一一	女性假性半陰陽	一一
新鮮ナル精液検査	一五	射入口	一一	處女ノ徵候	一一
人精蟲ナルヤ否ヤ	一五	射出口ト射入口トノ鑑別	一一	處女膜	一一
人骨カ獸骨カ	一五	射出口ト射入口トノ鑑別	一一	處女膜ノ形	一一
齒牙ノ交換	一五	出血死	一一	女子ノ手淫	一一
死前ノ病狀	一五	受傷ハ生前ナリヤ死後ナリヤ	一一	處女膜變形	一一
心臟死	一五	死因ノ決定	一一	手淫	一一
しよつく死	一五	自他傷ノ別	一一	獸姦	一一
死因ノ競合	一五	自殺ト創傷	一一	死體現象ト中毒	一一
死因ト素質	一五	視力詐病	一一	實驗室ノ注意	一一
死體現象	一五	四肢ノ損傷	一一	滲透性毒物	一一
死ノ徵候	一五	種々機械的窒息死	一一	植物性毒物	一一

硝酸中毒	二六五	色慾異常者	四二九	砒素鏡	三〇二
樟酸及樟酸加里中毒	二六六	衝動性精神病	四三〇	砒素鏡トあんちもん鏡トノ	三〇三
硝酸銀中毒	二六七	酒精中毒	四三一	鑑別	三〇三
重くろしむ酸加里中毒	二七〇	死亡診断書	四三二	病的性格者	三〇三
重くろしむ酸加里中毒鑑定	二七〇	死體檢案書	四三三	病的虚言者	三〇三
實質毒	二七〇	死産證書	四三三	ひすてりー	四〇三
神經及心臟毒	二七〇	死胎檢案書	四三三	ひすてりー性痙攣發作	四〇八
死體すどりにしにね	二七〇	種痘法	四三三	ひすてりー性朦朧狀態	四〇八
商陸中毒	二七〇	種痘法施行規則	四三三	モの部	四〇九
しきみ中毒	二七〇	ヒの部	四三三	毛髮檢査	四〇九
食用品中毒	二七〇	微量ノ血痕鑑定	四三三	毛髮ノ伸張度	四〇九
診察不應招	二七〇	ひよれすてりん結晶	四三三	毛髮ノ色	四〇九
手術ノ不注意	二七〇	表皮剝脫	四三三	毛髮ノ附着物	四〇九
證人及原告ノ精神狀態	二七〇	皮下溢血	四三三	毛髮ノ太サ	四〇九
處分能力	二七〇	砒素中毒鑑定實例	四三三	毛根及毛幹	四〇九
心神喪失	二七〇	砒素劑中毒	四三三	毛髮ノ損傷	四〇九
心神耗弱	二七〇	砒素劑ノ作用	四三三	毛髮ノ燃焼	四〇九
心神喪失トナル條件	二七〇	砒素中毒症狀	四三三	毛髮ノ断面	四〇九
心神耗弱者トナルベキモノ	二七〇	砒素中毒ノ剖檢所見	四三三	毛髮類似ノ纖維	四〇九
審理及證言能力	二七〇	砒素劑ノ致死量	四三三	毛髮ト年齢	四〇九
神經質者	二七〇	砒素ノ化學的證明ニ就テ注意	四三三	毛髮鑑定書實例	四〇九
		砒素析出	四三三	もろひね中毒	四〇九

もろひねト腐敗
もろひね中毒鑑定實例
もろひね中毒(精神病)

もろひねト腐敗	三二七	石炭酸中毒	二六九	すばちわらん酸	三〇四
もろひね中毒鑑定實例	三二八	青酸中毒	二七〇	すたーすをつとー氏法	三〇七
もろひね中毒(精神病)	三二八	精神病患者ノ犯罪	二七〇	すどりにしにね中毒	三〇〇
セの部	三二八	精神病患者ニ對スル犯罪	二七〇	すどりにしにね中毒鑑定實例	三〇二
宣誓	三二八	精神狀態鑑定	二七〇		
精阜	三二八	責任能力	二七〇		
全身解剖ト局部解剖	三二八	責任無能力者	二七〇		
生物學的檢査	三二八	精神異常者ニ對スル犯罪	二七〇		
正規血清	三二八	精神狀態鑑定書	二七〇		
染毛	三二八	精神病患者ノ伴狂ト医狂	二七〇		
毳毛	三二八	生來性精神發育不良	二七〇		
精液檢査	三二八	生來性犯罪者	二七〇		
精蟲ノ大サ	三二八	精神性癲癇	二七〇		
精液斑浸漬法	三二八	譫妄性躁揚病	二七〇		
精蟲染色法	三二八	製藥者	二七〇		
切創	三二八	精神病患者監護法	二七〇		
切創ノ鑑定書實例	三二八	精神病患者監護法施行規則	二七〇		
生活反應	三二八	又の部	二七〇		
切腹	三二八	隨伴狀況	二七〇		
成熟兒	三二八	睡眠中ノ交接	二七〇		
生死産ノ別	三二八	水銀中毒	二七〇		
成熟兒鑑定書實例	三二八	水銀鏡	二七〇		

頁	行	正	誤
三六	附圖中 最下ノ上ニアル	第七圖	三字削除ス
五八	上欄 四行目 上ヨリ十三字目	高山氏試薬ニ加ヘ	高山氏試薬ヲ加ヘ
七三	七三 表中十一行目	スルコトヲ得レモ	スルコトヲ得レレ
七六	七六 六行目	52 52 91	52 52 61
七八	七八 六行目	七字目	七字目
八〇	八〇 十六行目	十字目	十字目
九六	九六 下欄二十五行目	中等腺ニ腫、大ナシ	中等、腺ニ腫大ナシ、
九九	九九 上欄 五行目	喉嚨ヲ觸ル	喉嚨ヲ觸ル
一〇六	一〇六 六行目	創縁	創縁
一一六	一一六 下欄 四行目	上部ハ	上部ハ
一二二	一二二 下欄 四行目	肝腎腺等ハ	肝腎腺等ハ
一三二	一三二 下欄 十三行目	四、胸腹部左上肢	四、胸腹部左右上肢
一五一	一五一 下欄 十三行目	秀〇ノ死因ハ絞頸	秀〇ノ死因ハ絞頸
一五二	一五二 下欄 十八行目	一、産前ノ死	一、産前ノ死
一六六	一六六 七行目	一、産前ノ死	一、産前ノ死
一七一	一七一 十四行目	一、産前ノ死	一、産前ノ死
一七四	一七四 第五十七圖ノ説明中其末行	腎腺形成	腎腺形成
一八〇	一八〇 上欄 四行目	鑑定人	鑑定人
一八六	一八六 三行目	一、純ノ一ノ	一、純ノ一ノ
一九一	一九一 十一行目	子宮腔ノ長サ	子宮腔ノ長サ
一九四	一九四 十七行目	白色平血内ニテ	白色平血内ニテ
二〇二	二〇二 五行目	子宮腔ノ	子宮腔ノ
二〇七	二〇七 挿圖ノ左側	陰門ニ在シ血液ノ附着セル部分	陰門ニ在シ血液ノ附着セル部分
三二八	三二八 上欄 十四行目	八、第七項ノ可檢物ニ	八、第七項ノ可檢物ニ
三二八	三二八 下欄 十四行目	十三、イ、第五項ノ可檢物ハ	十三、イ、第五項ノ可檢物ハ
三三六	三三六 十行目	然ル後麻痺セシメ、	然ル後麻痺セシメ、
三九九	三九九 上欄 十五行目	誠點症	誠點症
四六九	四六九 上欄 十七行目	人ニ大變用セラレテ	人ニ大變用セラレテ
五三一	五三一 上欄 十七行目	死亡診斷書	死亡診斷書

大正七年八月二十五日印刷
大正七年八月二十八日發行

正價金 四圓

著者 小南又一郎

發行者 小立鉦四郎

印刷者 三上庄治郎

印刷所 似玉堂印刷部

實用
法醫學

發行所

東京市本郷區湯島切通坂町八番地
南江堂書店
電話下谷一三三〇、四八三九、振替東京一四九九

東京市下京區柳馬場通三條南入
南江堂京都支店
電話上二〇三〇、振替大阪一一五〇五

60
603

終

